

未来を見据えて



これからの社会は、技術革新の一層の進展や長寿化に伴う「人生 100 年時代」の到来が予想され、私たちを取り巻く生活や環境も、大きく変わっていくことかと思えます。

このような中、教育においては、時代に合った学びが必要であり、学びの姿は一人一人に寄り添った変革が求められています。ICT を積極的に利活用し、学習を効率的に進めることも必要になっています。今、私たちには、教育の変えてはならない不易と、変えていかなければならない流行を見極め、子どもたちの未来を見据えた確かな実践と挑戦が期待されているのではないのでしょうか。

第3期市川市教育振興基本計画は、いかに社会が変化しようとも、夢や希望を持ち、個性を伸ばし可能性を広げて、自らの人生を切り拓いていくことのできる人の育成を目指しています。そのためには、あたたかい人と人との関わりの中で、豊かな人間性を育み、人間ならではの知恵や感性によって創造性を発揮していくことが、最も重要だと考えています。

本計画では、生涯を通じて、誰もが、いつでもどこでも学びたいことを学んだり、学び直したりできる「豊かな学び」の環境を実現していきます。その中で、学校は、障がいや不登校への対応、外国籍児童生徒への日本語指導など、支援が必要な子どものさまざまな教育的ニーズに応えていくことに全力で取り組みます。教育委員会は、家庭教育を推進するため、学校とともに積極的な情報の発信や支援を行っていきます。また、地域の方々と学校が目指す子ども像や教育目標を共有し、子どもを地域で見守り、地域で育てることができるよう、さまざまな施策を推進します。

本市の教育は、人と人とのつながりをこれからも大切にし、すべての子どもにあたたかい眼差しと心で寄り添い、子どもたちを育てまいります。「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念とし、市川教育でつくりあげてきた家庭・学校・地域の連携・協働をさらに継承・発展させ、皆様とともに「つなぐ教育」を進めてまいりたいと考えております。

市川市教育委員会教育長
田中 庸恵

目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の対象	2
4 計画の期間	2
第2章 教育を取り巻く現状と課題	3
1 社会状況の変化と取り組むべき課題	3
2 市川市の教育を取り巻く現状と課題	4
第3章 市川市の教育政策の基本的な考え方	11
1 基本理念	11
2 基本的な3つの考え方	13
3 計画の体系	16
第4章 方針と目標、施策	18
方針1 目標1～目標5	20
方針2 目標6～目標9	38
方針3 目標10～目標12	53
第5章 計画の推進	63
1 検証改善サイクル（PDCAサイクル）の実践	63
2 新たな教育上の課題への対応	63
資料編	64
1 本市の教育を取り巻く現状	64
2 市川市教育振興審議会	68
3 策定経過	75